



## 確証バイアス

校長 小島 淳

インターネットストア、動画配信サイトを利用すると、AIにより個別最適化がなされ「自分が見たいもの」が画面にずらりと並びます。2000年以上前に「人は見たいものしか見ない」と述べたのは、ユリウス・カサエルです。自分にとって都合の良い情報ばかりを無意識に集めてしまうという人間の本質を突いた名言で、心理学用語で**確証バイアス**といいます。インターネットが重要なインフラと化した現代社会は、確証バイアスに引きずられやすい社会である、と私は感じています。

確証バイアスの代表的な例は、血液型によるカテゴライズです。血液型を知らない時は感じなかったのに相手がA型とわかると「どうりで几帳面だと思った」と言う人を見かけます。私の血液型がAB型と知ると「ああやっぱり」と言う方がいますが、何なんでしょうね（苦笑）。

ファンが、「推し」の情報を一つでも多く集めようとする行動。ファンが、推しの不祥事に対し、「これは何かの間違いだ」と不祥事を否定する資料や擁護するコメントを探し見つけ出して事実を認めない行動。動画投稿サイトの再生回数水増しやコメント欄の炎上。これらはまさに確証バイアスが顕著に働いている例ではないでしょうか。

仲の良い人の良いところはいくらでも言えるが、悪いところはあまり思いつかないことはありませんか。逆に、よく思っていない人の悪い事ばかり目に付き、良いところに気付かないことがありますか。私はあります。だから、里公小学校の子どもたちや保護者、教職員を確証バイアスという眼鏡を掛けて見てはいないかと自問自答しています。それでも時折「〇〇さんだからなあ」と口に出るときがあります。本当に情けない次第です。

大人の私がこうですので、確証バイアスに引っ張られて言動を間違えてしてしまう子がいて当然です。そのため子どもたちの心の健やかな成長を目指し里公小学校では、「みんなで笑顔になろう」の合言葉の下、「クラス会議」「全校SSE」「いじめ見逃しゼロスクール集会」「人権教育、同和教育」「特別の教科 道徳」などの教育活動の充実を図ってまいります。

今後、小学校適正配置に向けて『「一緒になってよかった」と思える学校』を目指し、学校経営を行う予定です。「里公の子」「美守の子」「上杉の子」という見方考え方をするのではなく、「三和の子」という見方考え方ができるような学校の雰囲気づくりを進めていきたいと考えています。そのために、「見たいものだけ見る」のではなく、「都合の悪いことも見て改める」よう心掛けてまいります。

最後になりましたが、新年あけましておめでとうございます。大きな地震で不安な年明けとなりましたが、これからは良いことがあることを信じて。令和6年も里公小学校をどうぞよろしく願いいたします。

## R5 2学期末 学校評価保護者アンケート

### 1 肯定的評価

質 問 項 目	2 学期	1 学期
1 お子さんは、学校へ行くことを楽しみにしている。	95%	93%
2 お子さんは学校で学んだり体験したりしたことについて、家庭で話題にしている。	92%	91%
3 お子さんは、学習したことが「わかる」「できる」「楽しい」と言っている。	89%	76%
4 お子さんは家庭学習の習慣が身に付いている。	80%	66%
5 お子さんは、家庭や地域であいさつやお礼をいうことができている。	88%	71%
6 家庭で、いじめや差別が許されないことを話題にしている。	91%	90%
7 お子さんは、家庭や地域で、運動したり体を動かして遊んだりしている。	72%	78%
8 お子さんは、家庭で決めた「我が家のメディア目標」を守ろうとしている。	67%	64%
9 お子さんは、早寝・早起き・朝ご飯などの基本的な生活習慣が身に付いている。	80%	88%
10 学校は、家庭や地域と協力して、子どもたちの安全確保に努めている。（登下校・不審者対策・災害への対応等）	97%	100%
11 学校は、便りやホームページ等で子どもたちの様子や学校の方針について、適切に知らせている。	99%	76%
12 学校は、お子さんの悩みや相談に対して親身に対応し、子どもたちのより良い人間関係づくりに取り組んでいる。	93%	97%
13 学校は地域のよさ（人・もの・文化）や専門機関（市・区・外部講師）を活用し、教委活動や子どもたちの心身の成長を図るよう努めている。	96%	100%

➡ 1学期末のアンケートで肯定的評価が低かった項目が2学期末の評価で改善されました。学校の教育活動に対する保護者の皆様の働きかけと子どもたちの「頑張ろう」という気持ちが数値に表れたと考えます。ご協力感謝申し上げます。項目12・13は高評価ではありますが、数値が下がりました。改善点を協議し今後の教育活動に反映するよう努力いたします。

## 2 自由記述

遠い地域は途中で班が崩れてしまい仕方ないかと思いますが、番町過ぎあたりからたまに1人で下校している子がパラパラいて心配です。日が短くなり、17時過ぎの暗い時間に日和町で遊んでいる子が突然飛び出して来て、危険だと思いました。

➡下校時児童玄関で近くの町内ごとにまとめてから出発させています。番町を過ぎるとどうしても一人区間ができてしまいます。心配して見守ってくださり感謝いたします。

難しいかもしれませんが、ある程度いつ頃イベント開催を計画しているかを前もって連絡してほしいです。1週間前に連絡されても仕事を休めないことがあります。

➡全校に関わるイベントは、1か月前にはお知らせするよう努めておりますが、持久走記録会の雨天延期と学年の取組のお知らせが開催日間際になりご迷惑をおかけしました。なるべく早めにお知らせするよう努力してまいります。

地域パトロール下校時、挨拶をしない子がたくさんいました！とても残念です。

➡お忙しい中、地域パトロールをしていただき感謝申し上げます。校内での挨拶は良くなってきましたが、地域でのあいさつが課題です。来年度から三和区全体で挨拶運動が取り組まれるという話があります。学校・地域・家庭で子どもたちの心を育てていきたいと考えます。

担任の先生を尊敬しており、学校へ行くことを楽しみにしているので、安心である。

➡大変嬉しいお言葉をいただきありがとうございます。お子さんや保護者の信頼を失わないよう教職員一同精進してまいります。お気づきのことがありましたら学校までお知らせください。

三和区ならではの教材となるものを活用しながら、学習に取り組めるよう工夫してもらっていると思う。

音楽会の内容も様々なやり方があり、今の時代ならではのよかった。子ども達が楽しんでやっているように見えた。先生方の勤務時間外、業務の負担軽減なども、子どもと向き合うためには必要なことだと思うし、それに対する変更などもきちんと説明した上でしてもらっていると感じている。

コロナ禍以前の感じを少しでも良いので戻してもらいたい

➡児童の笑顔と成長のため、学校は活動の新設と充実を積み重ねてきました。しかし、学習指導要領の改訂、社会情勢の変化、価値観の多様化が進み、同じように活動を継続することが困難になりつつあります。極暑とコロナ禍は活動の在り方を見直す契機となりました。当校は、①「児童の安全安心の確保」②「前例踏襲の回避」③「持続可能かどうか」④「費用対効果」⑤「学習指導要領との整合性」を観点に活動を見直してきました。今後は統合を視野に入れ、「何を見直し、改善し、新設するか」を、職員会議や学校運営協議会、PTA 常任委員会、統合実行委員会等で議論してまいります。

# 地震の爪痕



令和6年能登半島地震に関連し、震度5強と震度4の地震が上越市に起きました。幸い児童の怪我等が無く胸をなでおろしていますが、校舎には地震の爪痕が。ピロティ、グラウンド側犬走りの階段と花壇、調理室床、体育館外側壁面に段差と亀裂が認められました。学校生活には影響がありませんが、校地校舎に負荷がかかっていると考え、安全確認に注力してまいります。



## 教育活動の様子

書初め会(1/9.10)



全校 SSE(1/16)



臨時避難訓練(1/17)



臨時避難訓練は、震度5の地震を想定し行いました。①屋外に避難②校舎内の安全を確認した上で体育館へ移動。③学年ごとの隊形から登校班に並び直して保護者の迎えを待つ。以上の流れを確認しました。

## 2月の予定

	行 事 等
1日(木)	新1年生入学説明会
8日(木)	委員会活動 不審者対応避難訓練
13日(火)	長縄記録会(～15日/ 中学年13日 低学年14日 高学年15日)
15日(木)	委員会活動(4年生見学) 学校運営協議会
22日(木)	PTA 常任委員会・PTA 委員会・専門部会-
26日(月)	校内版画展(～3月5日)
28日(水)	学習参観日・PTA 総会・学年懇談会
29日(木)	委員会活動

